



TAC 地方上級・国家一般職 総合本科生
平山 幹二さん(22 歳)

合格:浦添市(沖縄県)一般行政職(上級)

内定:浦添市一般行政職(上級)

【TAC 徳島校の良かったところ】

1. 勉強する内容が明確(TAC の授業と教材だけで合格する)
2. 面接対策が心強い
3. 立地(駅と大学に近い)

【面接・集団討論など二次・三次対策】

- ・ TAC で島野先生に、集団面接対策と、個別面接対策をしてもらいました。
- ・ 僕は民間企業、公務員試験ともに、就活経験が0だったので、自己分析や父との面接練習を1日6時間2週間近く、みっちり行いました。
- ・ 自己分析は、よく聞かれる質問をネットから拾い、その回答をワードで30ページ近くにまとめました。結果は、24人中5位でした。

【学習期間や一日の学習時間と、筆記試験対策】

- ・ 大学4回生の4月から勉強を始め、4月60h、5月70h、6月132h、7月60h、8月27h、9月53hの、計402h。
- ・ 教養は大学受験の知識でカバーできる範囲が多く、ほぼ手を付けなかった。よって、402hの勉強は全て専門科目、特に憲法、民法、行政法を固めた。
《結果》教養 70点/100点 : 専門 53点/100点

【TACでお勧めの勉強方法や教材、効果的な学習法】

- ・ 授業を1度受けてみて、すごく理解できる分野は、授業＞演習。
逆に理解しづらい分野は、演習＞授業にして、覚えることに専念した。
- ・ 僕は経済学と財政学を捨て、その他の専門科目を授業を2回ずつ受けて、憲法、民法、行政法のV問を2周した。しかし、明らかに演習が少なかったと思うので、時間に余裕がある人は、これの何倍も演習に取り組んだ方がいいと思います。

【今回の最終合格・内定の決め手】

- ・ 専門科目に絞った学習

【この合格体験記のタイトル】

まずは自己分析、それが終われば後は、勉強と最後まで向き合う。

【これから受験される方へアドバイス】

- ・ 気の迷いは、学習のモチベーションや試験の点数に影響します。
受験を決めたら、自分の機嫌を取りながら、とにかくコツコツやることだと思います。絶対に合格とは言えなくても、やった分だけ点数は上がるので、とにかく最後まで向き合うこと。

【受験動機】

父が防衛省勤務のため、色々な公務員の仕事内容を聞いてきた中で、市役所で市民の役に立ったり、市の開発に携わりたいと思ったから。

【TACを選んだ理由】

合格実績があり、安心して学習できる公務員学校の中で、受講料が安価に学べるから。

【最後に一言】

- ・ 公開模試の申込締切(Webスクールで全員にお知らせが来る)、油断していると過ぎちゃうから気を付けて！ぶっつけ本番の試験になると、緊張します。